第一回定例会 代表質問・総括質疑・補充質疑

「疑問が多々ある、平成30年度予算案」



区長が「子ども・若者施策」に力点を置くのであれば、尚更のこと、次世代を担う子どもたちに重い負担を背負わすことがないよう、これまでの姿勢を改め、財政面に気を配るべきです。



QUESTION

予算案に関し、保坂区長は区民に対して堂々と胸を張って説明できる内容であると考えているのでしょうか。区長の常識ある見解を伺います。

ANSWER



世田谷区長

９０万区民の暮らしをつくる参加と協働の予算として編成しました。中期的な財政需要の見通しを踏まえ、基金積み立てなど財源確保も適切に行うなど、堅実な財政運営を行っていきたいと考えています。

今回の予算編成、優先順位についても財政規律の重要性についても区長のリーダーシップには疑問を感じます。人口推移などを見極めた上での予算編成であるべきです。

「道路整備の水準が低い世田谷区」

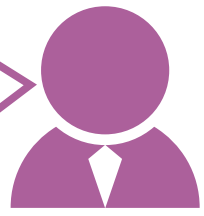
区では道路ネットワーク整備の遅れが原因として生じる問題を多く抱えており、誰もが安全かつ快適に移動できる道づくりが強く求められています。



QUESTION

区民の生命と財産を守る観点からも、道路率や平均幅員が２３区の平均を大きく下回る現状を踏まえ、世田谷区の最大の弱点とも言える道路基盤の整備に全力を注ぐべきではないでしょうか。

ANSWER



道路･交通政策部長

世田谷区の道路整備の水準は大変低い状況となっており、安全な歩行者空間の確保やさまざまな施設への円滑な移動、防災上の問題など、区民の生活に多くの支障を来していると認識しております。今後とも、区内の道路ネットワークの計画的な整備に全力で取り組んでまいります。

都市計画道路の整備をはじめ、狭あい道路の拡幅、電線地中化等による歩行者空間の確保など、道路環境の更なる改善を引き続き要望してまいります。

「区民一人ひとりに防災意識を高めてもらうには」



地域の防災力を高めるためには、幅広い住民が防災意識を共有しなければならず、訓練や啓発の取り組みが毎年の「ノルマ」となるようでは、実施する意味がありません。



QUESTION

防災訓練に参加したことがない区民でも気軽に参加できるよう、実施方法を工夫するなど、地域防災力の向上に資する取り組みを強化すべきです。

ANSWER



玉川総合支所長

地域防災力を高めるためには、区民一人一人の防災意識の向上が不可欠です。このため区では、町会・自治会や事業者とともに、多くの方が防災訓練に参加していただけるよう内容や周知方法についてさまざまな工夫をしております。またお花見や盆踊りなどのイベントで防災を学べるコーナーを設ける町会もございます。今後はこうした気軽に参加できる防災訓練が多くの地区で実施できるよう町会・自治会等に提案するなど、引き続き取り組んでまいります。



防災力を高めるためには、自助力・共助力の底上げと、区民一人ひとりの防災意識の向上が不可欠です。

裏面へつづく



「第７回 新春のつどい」

区政レポート 和田ひでとし通信

世田谷区議会議員

平成二十年五月 発行

第二十号

ごあいさつ

平成三十年度がスタートしました。

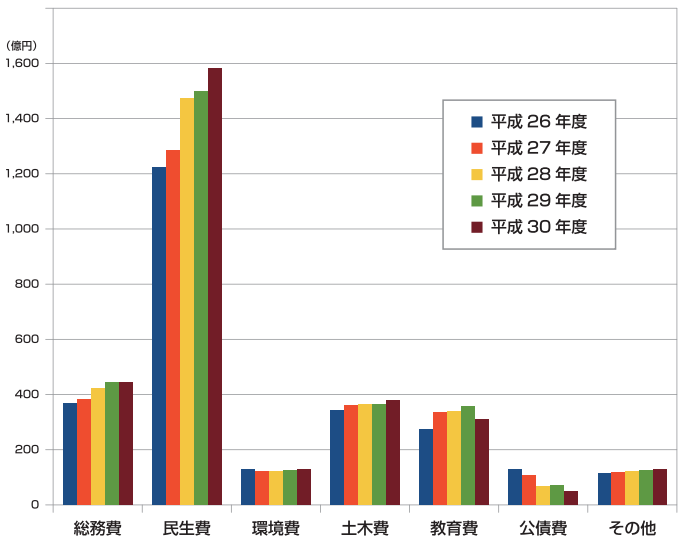
二〇二〇オリンピック・パラリンピックを二年後に、いくつもの大きな課題を抱えた世田谷区も節目の時を迎えています。

二期目の議員として任期はあと一年、締めくくりの年を、皆様のいろいろなお声をいただいて、区政を前に進めてまいります。

引き続きよろしくお願いいたします。

各種予算、５年間の推移

世田谷区の歳出予算は５年間で４００億円増加しましたが、そのほとんどが民生費です。
これは保育待機児の急増や高齢者の増加など、いくつかの要因が考えられますが、その影響により教育費や道路・建物を整備更新する土木費などは抑制せざるを得なくなっています。



今後の予定

- バンバリー市関係者来日（姉妹都市交流）
  平成 30 年５月９日～15 日
- 世田谷区議会臨時会
  平成 30 年５月 14 日～18 日
- 平成３０年度 世田谷区議会 第２回定例会
  平成 30 年６月 13 日～ 22 日
- 和田ひでとし初夏のつどい
  平成 30 年６月 29 日 19 時より

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！

和田ひでとし　検索

あなたのご意見をお聞かせください！
info@wadahidetoshi.com

ご意見・ご感想はこちらまで　〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 1-40-2　TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928

表面からのつづき

「教科化される道徳教育について」



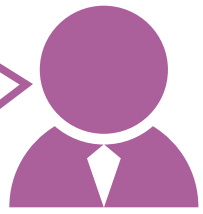
若手教員の割合が高い傾向が続く中で、いよいよ本年４月より小学校において教科化される道徳教育の実施に不安を抱いているところであります。



QUESTION

子どもたちの豊かな人間性の育成に向け、道徳教育に対する教育委員会の姿勢をしっかりと現場の教員に示す必要があると考えます。そこで、どのようなスタンスで道徳教育の充実を目指すつもりなのか伺います。

ANSWER



教育政策部長

今後は、いじめや情報モラルなどの現代的な課題につきましても議論するなど、地域ぐるみで子どもたちの豊かな心を育む工夫をしてまいります。これからも質の高い指導方法と子どもの道徳性や学習意欲を伸ばす評価の研究や研修を継続し、全ての教員の指導力を向上させ、道徳教育の一層の充実を図ってまいります。

学校・家庭・地域の連携をしっかりとりながら未来を担う子供たちの道徳教育を進めていかなければなりません。

予算特別委員会 総括質疑

「中期的な財政見通しを視野に入れた持続可能な財政基盤の構築について」

たまたま３０年度は学校の改築校が少ない年だということですが、であれば、いずれ来る学校改築の集中期に向けて、たとえば義務教育施設整備基金に財源を積み立てておくなど、備えておくべきではないでしょうか、これが健全な財政運営の鉄則であると代表質問でも申し上げました。



QUESTION

中長期的な財政見通しとして、将来の需要に備える姿勢がどうも不十分ではないでしょうか。

ANSWER



政策経営部長

基金の積み立てにつきましては、繰越財源などの状況も捉えまして、今後も計画的に積み立てるとともに、学校施設の更新に当たりましては、仮設経費の抑制、棟別改築及びリノベーションの手法の活用など、経費の抑制にも取り組んでまいりたいと考えております。

学校施設については１０年・２０年先の人口動向なども把握しながら財政面の備えをしっかりしておかなければなりません。

「区長がよく言われる、議会と行政は車の両輪だという認識」

議会と行政が十分に議論を重ねて予算を編成してこそ「車の両輪」といえるのではないでしょうか。現在の両輪はどうもいまひとつバランスがとれていない、何かぎこちない感じがしてなりません。

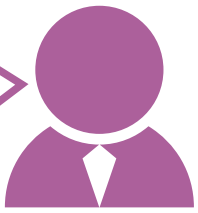




QUESTION

今回の３０年度予算案では、事業案がぎりぎりのタイミングで示され、反対や疑問の意見が多いにもかかわらず予算に盛り込まれた案件も多く見受けられます。これで車の両輪がバランスよく回っているといえるのでしょうか。改めて区長の認識を伺います。

ANSWER



世田谷区長

議会に対して早い時期に情報提供をするべきだというご指摘は、まさにそのとおりだと思います。今後、議会との車の両輪と申し上げた進め方につきましても、よりよい世田谷区政をつくり上げていきたいという思いのもと、軌を逸することなく説明に努め、引き続き議会からの御意見を伺いながら丁寧に取り組んでいきたいと思います。

予算特別委員会 補充質疑

「民泊について」

民泊がスタートしますが、適切でない民泊は厳正に取り締まり、住環境の保全もしっかり行うなかで、実際に始まってみれば想定を上回る事態が生じることも考えておかなければなりません。





QUESTION

現在の想定を上回った場合に、柔軟かつ機動的に体制の強化が必要と考えますが、その対応について区の見解を伺います。

ANSWER



世田谷保健所長

住宅宿泊事業が６月１５日から実施されるに当たり、事業の届出があった民泊施設につきましては、法令、条例及び事業者への指導指針である区のガイドラインで、事業の適正な運営について指導監督を徹底してまいります。また、周辺住民から届出のない違法な民泊への苦情、相談があった場合には、区は同じく６月１５日に施行される改正旅館業法に基づき、立ち入り調査等、適宜適切に対応を行います。
住宅宿泊事業開始後の状況を把握する中で、法令等を遵守せず近隣とのトラブルが絶えない民泊や、無届の民泊施設への対応に関しましては、保健所で法令等に基づく指導監督を行うことに加え、庁内の関係所管、警察等の関係機関との連携を一層進めるなど、体制の強化を図ってまいります。また、条例の附則で、条例施行後１年を経過した場合において、この条例の施行の状況について検討を加え、必要があると認めるときは、条例の変更も視野に入れるとしておりますので、事業の見直しについても柔軟に対応してまいります。

制度開始以降も実態の把握に努め、世田谷の特性に見合った民泊制度が運用されるよう、さらなる工夫を求めておきます。

本庁舎整備の進捗状況（２）

今後も議会と行政が足並みを揃え、本庁舎整備を推進していかなければなりません。中でも基本設計の策定にあたっては、資材・人件費等の高騰に伴う工事関連経費の動向を適宜、財政計画に反映するとともに、その検証経過を随時、区民や議会に報告すべきです。５月に基本設計方針案、９月に基本設計案中間報告、３０年度末に基本設計策定の予定となっています。

南北間公共交通の課題（２）

等々力→梅ヶ丘のバス路線はこれまで運行本数が少なく、特に朝夕の時間帯も運行をと要望してまいりましたが、**本年４月より朝８時台から１６時台まで拡充**されて、運行本数も**平日は１２本**になりました。
区の南北間公共交通の拡充については、これまでも課題として取り上げてまいりましたが、３月で田園調布～区民会館の路線と、多摩川～渋谷の路線（朝のみ）が廃止になり、一部の区民の皆さんにとって大変不便になってしまいました。しかしながら、バス路線の充実についてはこれからも皆さんの声をいただきながら、要望を続けてまいります。